

東海支部

前回、岐阜県で東海支部総会を開催したのは、コロナウイルスなど思いもよらない2019年のこと。コロナ禍となり翌年の活動は中止、一昨年から支部総会が再開され、今年度は5年振りに岐阜県での開催となりました。会場は「岐阜グランドホテル」の最上階、ガラス張りのローナズルーム。金華山の山頂にそびえる岐阜城を臨み、眼下には清流長良川の絶景を眺めながらの和やかな会となりました。



ども達に読んでみたい。他にも伺いたいことがありました。が進行に追われ、先生とゆつくりお話しできず、残念でした。

今回の総会には、千葉県、神奈川県、そして福岡県からも参加ください、皆さんには1300年の伝統を受け継ぐ長良川の鵜飼いを堪能いたくことができました。次回は鵜飼舟を一艘借りるのも良いな、などと考えています。全国の皆さん、ぜひ岐阜へお越しくださいませ。

7月には、青山学院校友会岐阜県支部30周年記念演奏会も控えていました。高等部出身の辻宏氏が製作されたサラマンカホールのパイプオルガンを、高等部出身のオルガニスト椎名雄一郎氏が演奏されました。

し、ご講演いただきました。

読み聞かせボランティアの会の副代表を務め、男女共同参画市民推進委員としても活動している私にとって、大変興味深いテーマでした。事前にいたいた資料に載っていた絵本を皆さん実際に見ていただこうと、図書館で借りて会場へ展示しました。読み聞かせの活動をする中で、ジエンダーバイアスを感じる絵本が多く本選びに苦労することがありますが、そうではない絵本を多数紹介いただいたので、子



関西支部

6月1日、前日の青葉雨は何処かに去り、この日は朝から新緑が映える一日となりました。今年度、青山学院女子短期大学同窓会設立50周年を迎える中、第44回となる関西支部総会は、JR大阪駅前の「ホテル阪急レスパイン大阪」で開催されました。

青山学院大学コミュニケーション科学部准教授小林瑞乃先生、同輪島達郎先生、校友会から木下英司関西支部長、渡里尚人京都支部長、安西彰子同窓会副会長、中嶋泉運営委員をお迎えし、総勢27名の和やかな集いとなりました。

開会挨拶の後、礼拝、讃美歌、聖書朗読、祈祷があり、ご来賓のご挨拶をいたいた後、関西支部の活動報告等と続き、会食となりました。

テーブルは5テーブル、イタリアン料理をいただきながらの歓談では、初めてお目にかかる方々も多かつたと思

いですが、青短で過ごした2年間の出来事やシオン寮や下宿、東京の親元からの通学の思い出などの話に花が咲きました。シオン寮卒生も多く出席されており猿楽町やその前の金王町の寮だつた方もいらっしゃり、シオン寮卒生の私は何とも懐かしく嬉しい思いがいたしました。年代を超えた雰囲気の中で語り合うことができたのは、2年間という短い期間ではあるものの青短への誇りと思いを共有できたからかもしれません。

